

「夢は子どもがほっとできる
 場所をつくることです」



保育士×消防団員×市民リポーター
神田亜弥乃さん

私立保育園で保育士として働きながら、四日市市の消防団員や市民リポーターなどマルチに活動する神田亜弥乃さんにお話を伺いました。

有料広告掲載欄



店頭・出張買取OK!
 創業106年の歴史と信頼・実績!

紺文 智の屋小町
 KONBUN KOMACHI

タンスの中に眠っていませんか?大量のお着物もお気軽に!

着物買取

貴金属・ジュエリーも高価買取中!



059-352-4253 ■四日市市鵜の森1丁目7-13
 ■9時~18時(木曜定休)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■保育士は天職だと思っています



保育士という道を最初に意識した出来事は、妹がバスケットボールの少年団に入っていて、そこにいた小さい子の面倒を見ていたときに、少年団のコーチに「保育士になったら」と言われたことでした。元々音楽が好きで音楽の学校に行きたいと思っていたのですが、いじめ問題や虐待のニュースが頻繁に取り上げられることがあったときに、子どもに関わる仕事をしようと思って決めました。保育士という仕事は歌も歌えますし、好きな工作もたくさんできるので、自分にとって天職だと思っています。

■震災や火事を見て防災士・消防団員に

東日本大震災があったときに防災の勉強をしたいと思うようになって、半年ぐらい三重大学に通って「みえ防災コーディネーター」の資格を取りました。それで防災士の試験を受けられるようになったので、防災士の資格も取りました。さあこれからどうしようと思っていたときに家の近くで火事があった、これは消防団に入って勉強するべきだなと思いました。消防団は女性が少ないですが、火の消し方などを真面目に勉強したかったので迷いはありませんでした。



■ロケを通じて、より四日市を好きに

「ちゃんねるよっかいち」の市民リポーターについては、元々番組を見ていて興味を持っていました。私は生まれてからずっと四日市に住んでいて、四日市が大好きだけどまだまだこのまちの魅力を分かっていないところもあって、もうちょっと知りたいなと思っていました。また、自分が今まで住んできたまちに何か恩返しができたらという思いもあって、オーディションを受けました。市民リポーターになってからは、いろいろな場所にロケに行ってお四日市のことをより好きになりましたし、四日市の活動に携わる人たちとの出会いもあって、すごく良かったなと感じています。



■「子どもがほっとできる場所」をつくりたい

いろいろなことに挑戦することについては、「なるようになるかな」「人生で後悔だけはしたくない」という思いで動いています。くじけることも悩むこともありますが、「挑戦することで何かいいことがついてくる」と信じてやっています。

私の夢は、子どもがほっとできる場所をつくることです。今はその夢に向かって、いろいろな場所で勉強させてもらっています。大人の私たちが楽しんできらっと輝いていないと、子どもたちも未来を明るく見られないので、これからも自分の夢に向かって頑張っていきたいです。



6月放送のCTY「ちゃんねるよっかいち」やCTY-FM「よっかいちわいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労 四日市支部

随時加入者
募集中

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。